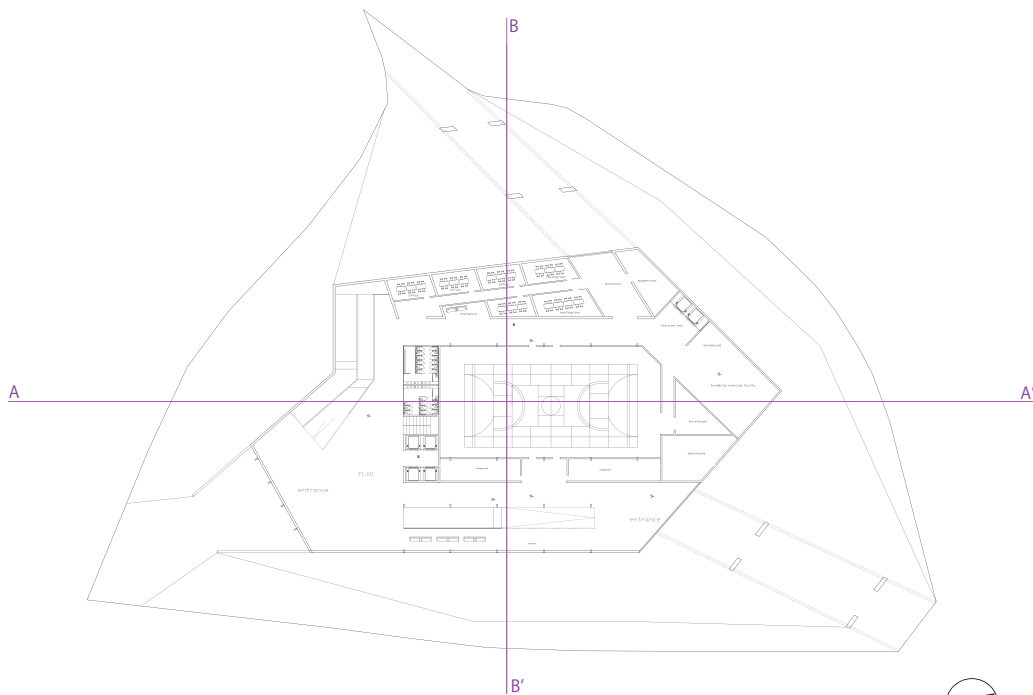
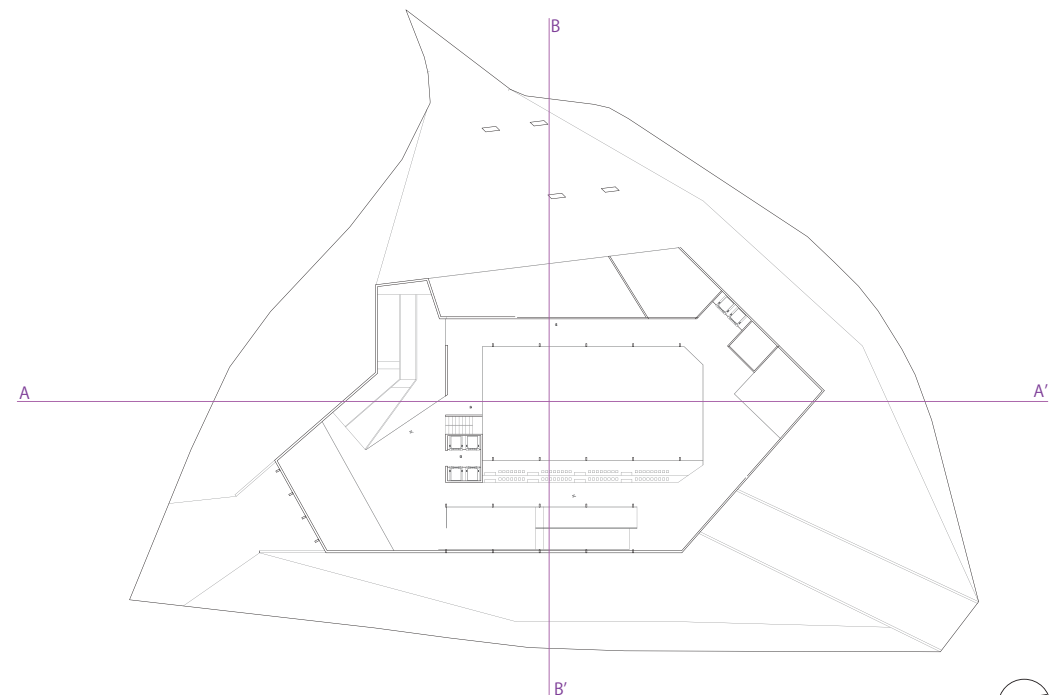


スロープの形態に関する類型化の分析と公共施設における歩行空間の研究

—Zaha Hadid 建築作品から学ぶ空間設計の一助として—

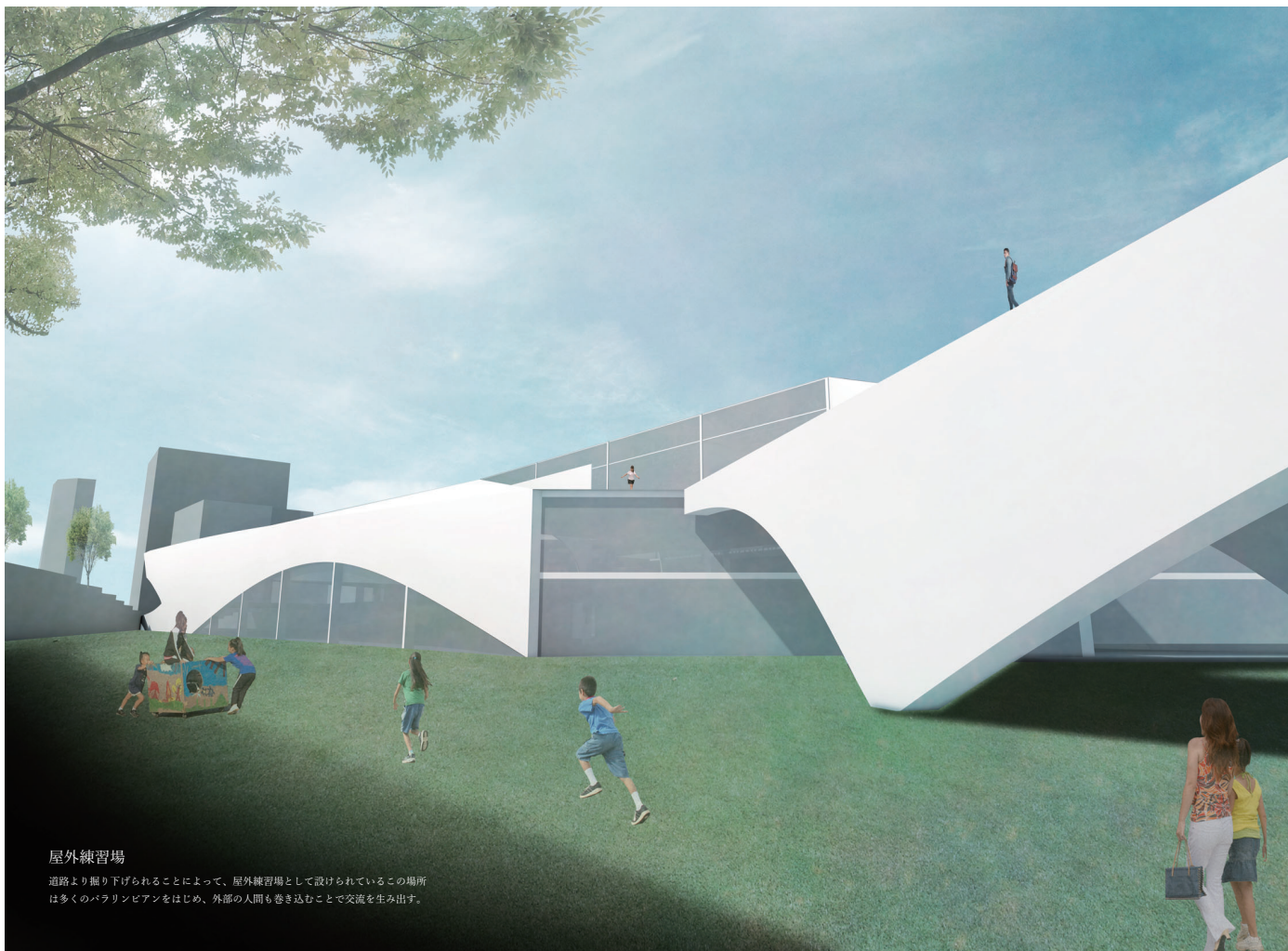


1F Planning Scale 1/500



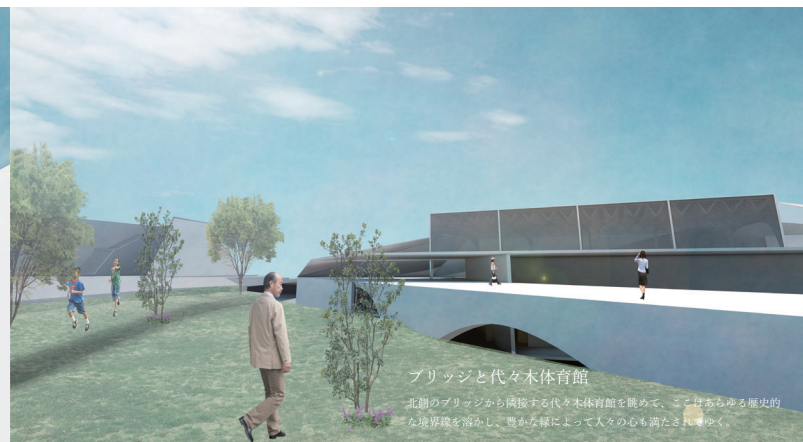
2F Planning Scale 1/500





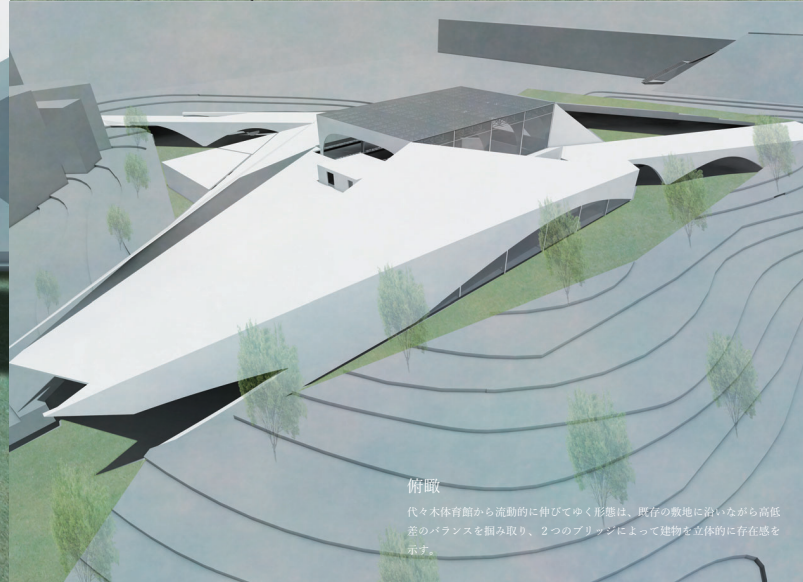
屋外練習場

道路より掘り下げられることによって、屋外練習場として設けられているこの場所は多くのパラリンピアンをはじめ、外部の人間も巻き込むことで交流を生み出す。



ブリッジと代々木体育館

北側のブリッジから隣接する代々木体育館を眺めて、ここはあらゆる歴史的な境界線を溶かし、豊かな緑によって人々の心も満たされ、癒やう。



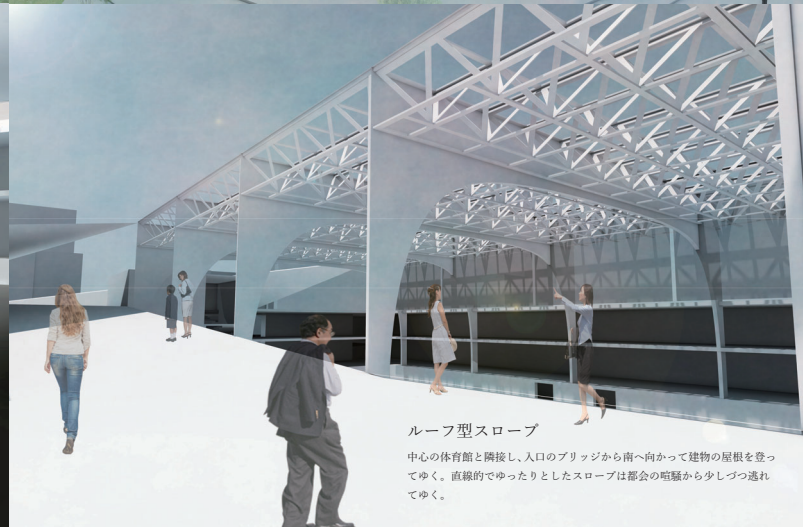
俯瞰

代々木体育館から流動的に伸びてゆく形態は、既存の敷地に沿いながら高低差のバランスを掴み取り、2つのブリッジによって建物を立体的に存在感を示す。



折返しスロープ

中心の体育館を回るように設けられた長いスロープは、たくさんの光が降り注ぐ。折り返しすれ違う人々の関係性は自然と距離が縮まり、やがて中心の活発的なバラスポーツの熱に導かれる。



ループ型スロープ

中心の体育館と隣接し、入口のブリッジから南へ向かって建物の屋根を登ってゆく。直線的でゆったりとしたスロープは都会の喧騒から少しづつ逃れてゆく。

